The best relationship

～最高の仲間たち～

第一学年通信No13



校外学習を終えてⅢ

作文ノートより

今日、明石公園に校外学習に行った。集団行動や大縄跳び，自然とふれ合う・色探しや校歌熱唱などをした。行く前･･･正直、明石公園は何度も行ったことのある所だから「楽しみな校外学習」という印象はなかった。それどころか「大縄をする」ということにガッカリしていた。理由は、私は８の字とびができないので、いつもまわす方をしていたからだ。しかたなく校外学習に行く。そんな感じだった。行き～終わるまで･･･４つのレクの中で一番印象に残っているのは「大縄」だ。１回もとべずにみんなに迷惑ばかりかけるんだと思っていた。でも実際は違った。１回みんなで大縄をとべた時、自信を持てた。これからは８の字はとべないけど、全員でとぶのはとべると言えると思い、喜びを感じた。もしかしたら８の字だって、とべるかもしれない（練習すれば）とも思えた。でも反省することもある。反省することが多いのは、色探しの時だ。『樺色』『亜麻色』『青丹色』の３色を探すことになった。女子３人は最初にムカデを見つけてから虫に敏感になりすぎて、ずっとキャーキャー言って、男子まかせにしていた。もう少し冷静になればよかったと思う。また、班がバラバラになっていたのも反省点だ。一人が色探しに夢中になりすぎて５：１の行動か，男子と女子がバラバラになって３：３という時もあった。終わって･･･帰りにすごく雨が強く降ってきた。雨具を持ってきていない人に雨具やタオルを貸してあげるということが私の周辺でおきていた。『みんなでみんなを』とは、こんな感じなのかなあと思った。また、人のことを優先的に考えるというのは難しいことだけど、私もやっていきたいと思った。

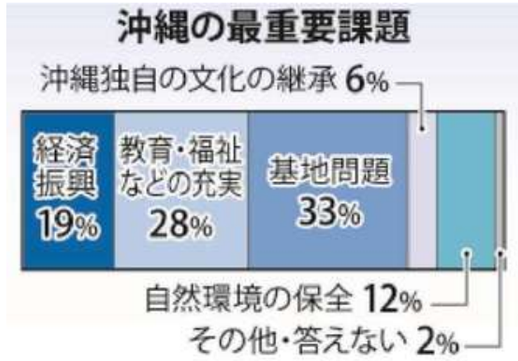
今日、5 月 15 日は、沖縄本土復帰記念日

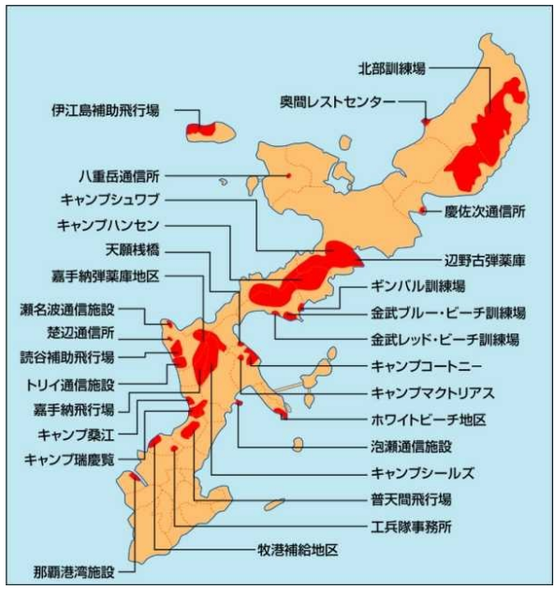
1971(昭和 46)年 6 月 17 日、
宇宙中継によって東京とワシントンで結ばれた
「沖縄返還協定」が、
1972(昭和 47)年 5 月 15 日午前 0 時に発効し、
沖縄の施政権がアメリカから日本に返還され、
沖縄県が誕生しました。

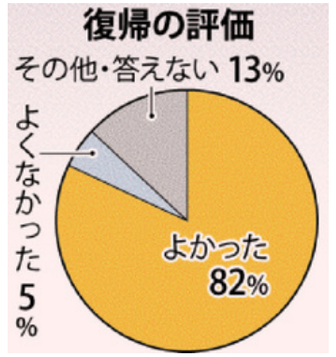
日本政府側は「本土並み」の復帰を
目指したが、・・・。



沖縄の本土復帰から４５年を迎えるのを前に、県民意識調査を実施した。
沖縄の最も重要な課題を聞いたところ
「基地問題」が３３％と最多で、「教育・福祉などの充実」２８％、「経済振興」１９％などを上回った。
在日米軍専用施設面積の７０・６％が沖縄に集中する状況で、名護市辺野古の新基地建設を強引に進めるといった政府の姿勢が、「基地問題」への関心を押し上げたとみられる。







復帰の評価は「よかった」８２％が、「よくなかった」５％を大きく引き離した。「よかった」と答えた人が、１８～２９歳で９割を超えたほか、３０代で８６％、４０代と５０代で８４％に対し、６０代は７２％、７０歳以上は７４％と復帰運動に関わった世代で比較的低かった。

【5 月 12 日沖縄タイムスより】

1972 年（昭和 47 年）5 月 15 日、きのうまでの沖縄といろいろなことが変わりました。

Q：当時、沖縄で生活していた人々が、

一番困ったことは何だと思いますか？

あなたの意見を聞かせてください。次号、第一学年通信No14 の投票用紙に記入してみましょう。

職員室前の第一学年のロッカーの上に、**［７３投票箱］** を置いていますので、
たくさんの意見を待っています。締め切りは１８日（木）午後４：００とします。